

教育カリキュラム

コース名	社員教育「清水流 プロジェクト管理」 半日(4時間)×4回コース					
対象者	プロジェクト管理をやっているが進め方に悩んでいる人。これからプロジェクト管理に携わる人					
ねらい	プロジェクト管理というと進捗管理などの手法が重要視されますが、清水流は管理は必要悪と考え、管理の手間は最小限に、管理品質は最大限を目指した実践的な管理方法の習得です。					
実施概要	プロジェクト管理は先を予測する力(プロジェクト視力)と先を読んだ段取り力が重要です。この2つの目的は、管理工数の徹底的な排除と管理品質の徹底的な向上です。講義ではプロジェクト管理(進捗管理・品質管理・モチベーション管理)についての清水流極意の伝授とその極意を支える、プロジェクトで役に立て頂きたいツールがお土産につきます。					
講師	清水秀樹	参加人数	8名	作業場所	貴社ご指定の場所	
テキスト	専用テキスト		特記事項	・参加人数は10名までは下記内容に変更ありません。 ・下記所要時間は大よその時間です(上限は4時間/日)		
回数	テーマ	内容			所要時間	実施日
一部	清水流 プロジェクト管理	プロジェクトは「まっすぐゆっくり進め」は、必ずゴールする。まっすぐ歩くための実践的な極意(見方や実践のコツ)を伝授			1.5 時間	未定
		形式	内容		所要時間	
		講義	テーマ「プロジェクトをまっすぐゆっくり進める」 ・プロジェクトを取り巻く変化 ・SLT活動から見えるプロジェクトの課題 ・スパイラル型フェーズの管理 ・シリアル型フェーズの管理 ・右から引くプロジェクトスケジュールの勘所 ・セルフチェックと目で見える管理のすすめ ・先手必勝		60 分	
	グループ実習	ショートセミナーのQ&Aを兼ねいまプロジェクトが抱える悩みや課題を共有化するために、各自1つは抱える問題をあげディスカッションする+D22		30 分		
二部	清水流 品質管理	テーマ「システム品質とは何か、いかにシステム品質は向上させるのか」などプロジェクト管理において、最も重要な品質管理について統計学では解決しない真の品質管理の実践的な極意(見方や実践のコツ)を伝授			2.5 時間	未定
		形式	内容		所要時間	
		講義	4つのシステム品質 ・要求品質(顕在化要求と潜在要求) ・設計品質 ・製造品質 ・運用品質(変更管理とユーザ教育)		60 分	
		グループ実習	「各自が実践または考える品質向上策」や「こうして私は失敗しました事例」などを、参加者は必ず1つあげ、そのテーマについてディスカッションする。		30 分	
		講義	各フェーズにおける品質向上活動 ①計画フェーズ ②要件定義・業務設計フェーズ ③システム設計&開発&テストフェーズ ④システム移行&運用フェーズ		30 分	
	講義	(2)ツールについて検討する ①業務設計の網羅性を高めるためのワークシート ②業務ケースマトリクス用のワークシート ③業務設計フェーズの成果物サンプル		30 分		
三部	清水流 プロジェクトムダ取り	「プロジェクト管理の価値とムダ。外段取りのすすめ」について実践的な極意(見方や実践のコツ)を伝授			1.8 時間	未定
		形式	内容		所要時間	
		講義	プロジェクト管理の価値とムダについて、トヨタ生産的発想で徹底的な究極的な価値と徹底的なムダの排除方法は…。プロジェクトにおける価値の連続性を高めるための「外段取り」とは…。		45 分	
	グループ実習	できれば頼みたい仕事！ プロジェクトを進めるためには必要な仕事だが、全てプロジェクト内の体制だけではまかないきれない仕事で、本来ならプロジェクト発足前には準備しておくべき仕事にはどんなものがあるかを各自1つあげディスカッションする。		60 分		
【成果物】	当講義の際に使用した各種管理ツール					
【特記事項】	特になし					
会場	一般的な教室形式の会場がいいが、4～5人でのディスカッションもできるような机が移動可能な教室が望ましい。					